



防火実習





艦艇勤務が基本である海上自衛官は、油火災を想定した消火要領の体得が必須となっています。

しっかり座学で学び、実習当日を迎えます。当日も、実習場で充水ホースから実際に放水しながら、本番の流れで消火作業の一連の動きを行う訓練を実施してから、実際に消火する訓練を行いました。





「点火」という号令とともに教官が種火を燃料が充填された円タンクに持っていき点火します。みるみるうちに大きな火になります。



圧力がかかったホースはかなりさばきにくくなるので、後ろの支えている者との連携ができるかというのも重要です。

火柱が何メートルも上がり、勢い良く燃える炎に突入するのは勇気がいりますが、教官から受けた指導事項を一つ一つ確実に実施すれば、安全に消火できます。

火に対する恐怖心を払拭することも本訓練の目的の一つです





今回の訓練で「自分達でも大きな火を消すことができる」という自信がついたと思います。訓練を終えた達成感からか笑顔を見せてくれる学生もいました。皆さん訓練お疲れ様でした。

